

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築製図Ⅰ				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	192	⑥ 授業形態 演習	
⑦ 担当教員(代表)	三ッ井 正和	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
各種の建築物の知識と図面表現を的確に学ぶ。 1. 用途別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。 2. 構造別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。					
⑪ 授業の概要					
建築設計に関連する諸科目の学習の基礎として各種用途の建物（住宅、事務所、集会場等）や各種構造の建物（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造等）をケント紙やトレーシングペーパーに、実務的表現に力点を置いた手法で描く。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 18 時間目	線・文字の練習				
19 ～ 24 時間目	表示記号（平面表示記号、材料構造表示記号）のトレース				
25 ～ 120 時間目	専用住宅(木造2階建)の各種図面				
121 ～ 156 時間目	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の各種図面				
157 ～ 180 時間目	集会場(鉄骨造2階建)の各種図面				
181 ～ 192 時間目	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）				
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他	教科書	超入門 建築製図	出版社：	市ヶ谷出版社	
			著 者：	永井孝保 他	
	教材	配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030101

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築製図Ⅱ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	222	⑥ 授業形態	演習
⑦ 担当教員(代表)		安藤 修	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 評価基準		提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標						
1. クライアントの希望や設計条件を正確に把握できる能力を身につける。 2. 設計資料の収集の仕方や分析、また、設計時に必要な計画上の基礎知識を増やす。 3. 提案の趣旨を効果的にプレゼンテーションできる能力を磨く。						
⑪ 授業の概要						
木造の設計では住宅の平面・立面をはじめ、伏図・軸組等の構造図までを描く。木造以外の設計では鉄筋コンクリート造の共同住宅(標準規模:住戸面積80㎡、延べ面積2400㎡、4階建て程度)・ホテル・図書館・学校・公民館と鉄骨造の商業施設の中から一つを選択し設計する。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 12 時間目		木造2階建専用住宅の設計図面（エスキース等）の作成				
13 ～ 24 時間目		木造2階建専用住宅の設計図面（配置図、求積図、面積表、1階平面図、2階平面図）の作成				
25 ～ 30 時間目		木造2階建専用住宅の設計図面（立面図、断面図）の作成				
31 ～ 36 時間目		木造2階建専用住宅の設計図面（矩計図）の作成				
37 ～ 48 時間目		木造2階建専用住宅の設計図面（1階平面詳細図、階平面詳細図）の作成				
49 ～ 54 時間目		木造2階建専用住宅の設計図面（展開図）				
55 ～ 60 時間目		木造2階建専用住宅の設計図面（基礎伏図、1階床伏図）の作成				
61 ～ 66 時間目		木造2階建専用住宅の設計図面（2階床伏図兼1階小屋伏図、2階小屋伏図）の作成				
67 ～ 72 時間目		木造2階建専用住宅の設計図面（各通り軸組図、仕上げ表、表紙）の作成				
73 ～ 78 時間目		木造2階建専用住宅の壁量計算書の作成				
79 ～ 84 時間目		木造2階建専用住宅の確認申請書の作成				
85 ～ 96 時間目		非木造建築物の設計図面（エスキース等）の作成				
97 ～ 108 時間目		非木造建築物の設計図面（配置図、求積表、面積表、1階平面図）の作成				
109 ～ 114 時間目		非木造建築物の設計図面（基準階平面図等）の作成				
115 ～ 120 時間目		非木造建築物の設計図面（屋階平面図等）の作成				
121 ～ 126 時間目		非木造建築物の設計図面（立面図等）の作成				
127 ～ 132 時間目		非木造建築物の設計図面（断面図等）の作成				
133 ～ 138 時間目		非木造建築物の設計図面（1階平面詳細図等）の作成				
139 ～ 144 時間目		非木造建築物の設計図面（基準階平面詳細図等）の作成				
145 ～ 150 時間目		非木造建築物の設計図面（断面詳細図等）の作成				
151 ～ 156 時間目		非木造建築物の設計図面（大梁、小梁、柱の断面リスト）の作成				
157 ～ 162 時間目		非木造建築物の設計図面（各種伏図、各種配筋図）の作成				
163 ～ 192 時間目		木造2階建兼用住宅の設計図面（1・2階平面図、配置図、立面図、2階床伏図、矩計図）の作成				
193 ～ 222 時間目		非木造建築物の設計図面（1階平面図兼配置図、2階平面図、立面図、断面図）の作成				
⑬ その他		教科書	超入門 建築製図		出版社： 市ヶ谷出版社	
		教材	配布資料		著 者： 永井孝保 他	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030102

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築C A D I			
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	64	⑥ 授業形態 演習
⑦ 担当教員(代表)	石黒 達哉	⑧ 実務経験	施工実務経験者	
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑩ 授業の目的・目標				
JW_CADの基本操作を習得し、基本的な建築設計図を作図する能力を習得する。 基本操作習得後は、効率の良い作図の方法を学び、作図スピードの向上を図る。 図面のトレース能力を高めると共に、データの受け渡しに関する知識も習得する。				
⑪ 授業の概要				
基本的操作方法の練習。 木造住宅等の各種図面を作成。 CADソフトにある多くのコマンドを使いこなして作図効率を高める練習をする。 RC造集合住宅図面の作成。				
⑫ 授業内容・授業計画				
1 ～	6 時間目	CADの基本的操作		
7 ～	14 時間目	木造2階建専用住宅の設計図面1（平面図等）の作成		
15 ～	26 時間目	木造2階建専用住宅の設計図面1（立面図・断面図等）の作成		
27 ～	32 時間目	木造2階建専用住宅の設計図面1（建具表・建具キープラン・展開図）の作成		
33 ～	38 時間目	木造2階建専用住宅の設計図面1（各通り軸組図・仕上げ表・表紙）の作成		
39 ～	44 時間目	木造2階建専用住宅の設計図面2（平面図・断面図）の作成		
45 ～	48 時間目	木造2階建専用住宅の設計図面2（立面図・かなばかり図）の作成		
49 ～	52 時間目	RC造階段図面の作図練習		
53 ～	56 時間目	RC造建具詳細図面の作図練習		
57 ～	60 時間目	RC造集合住宅の設計図面（基準階平面図）の作成		
61 ～	64 時間目	RC造集合住宅の設計図面（立面図）の作成		
～	時間目			
～	時間目			
～	時間目			
～	時間目			
～	時間目			
～	時間目			
～	時間目			
～	時間目			
～	時間目			
～	時間目			
～	時間目			
⑬ その他		教科書	出版社：	
		教材	著 者：	
		配布資料		
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード 030103

授 業 計 画 (シラバス)

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築 C A D II				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	54	⑥ 授業形態	演習
⑦ 担当教員(代表)	河崎 真樹子	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 評価基準	提出課題を各 1 0 0 点満点として実施し、 6 0 点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
JW_CADやAutoCAD等のCADシステムの応用操作を習得し、建築設計プロジェクトの中で C A D を利用した設計図作成を統括できる力を習得する。 作図スピード向上を目指し、更に C A D データを他のソフトで活用する能力と知識を習得する。					
⑪ 授業の概要					
基本的操作方法を元に、応用操作の習得を目指し、実際の非木造建築物(鉄筋コンクリート造共同住宅(4階建2400㎡程度)・ホテル・図書館・学校、鉄骨造の商業施設等)の各種図面の作成をおこなう。さらに、 C A D システムの特性を生かした、立体図・日影図等の作図を行う。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ~ 7 時間目	R C 造建築物の設計図面課題 1 (1階平面図等) の作成				
8 ~ 14 時間目	R C 造建築物の設計図面課題 1 (基準階平面図等) の作成				
15 ~ 21 時間目	R C 造建築物の設計図面課題 1 (立面図等) の作成				
22 ~ 27 時間目	R C 造建築物の設計図面課題 1 (断面図等) の作成				
28 ~ 29 時間目	R C 造建築物の設計図面課題 1 (立体図・日影図) の作成				
30 ~ 35 時間目	S 造建築物の設計図面課題 2 (1 階平面図等) の作成				
36 ~ 41 時間目	S 造建築物の設計図面課題 2 (基準階平面図等) の作成				
42 ~ 47 時間目	S 造建築物の設計図面課題 2 (立面図等) の作成				
48 ~ 52 時間目	S 造建築物の設計図面課題 2 (断面図等) の作成				
53 ~ 54 時間目	S 造建築物の設計図面課題 2 (立体図・日影図) の作成				
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
~ 時間目					
⑬ その他		教科書	出版社：		
			著 者：		
		教 材	配布資料		
備考	⑤については、50分授業を 1 単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を 1 単位、実験・実習・実技は30単位時間を 1 単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030104

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築計画				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)		小牧 友久	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 評価基準		定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標						
各種建築物に関する知見を整理し、設計段階（基本設計）における空間計画（特に平面計画）の基礎知識を習得する。さらに、これらの知識を活用し設計製図に取り組める能力を養っていく。						
⑪ 授業の概要						
空間計画としての必須条件と、人間の生活・行動に関わる基本的な考え方を踏まえ、各種ビルディングタイプ別にその歴史・背景から、全体計画及び細部計画にいたるまでの知識を習得する。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 2 時間目		計画と設計、居住施設の計画（住様式と住宅の変化）				
3 ～ 5 時間目		居住施設の計画（一戸建て住宅）				
6 ～ 8 時間目		居住施設の計画（集合住宅）				
9 ～ 10 時間目		居住住宅の計画（細部計画）				
11 ～ 14 時間目		学校教育施設の計画（幼稚園・保育所）				
15 ～ 18 時間目		学校教育施設の計画（小学校・中学校）				
19 ～ 20 時間目		社会教育施設の計画（生活圏とコミュニティ施設）				
21 ～ 24 時間目		社会教育施設の計画（図書館）				
25 ～ 28 時間目		社会教育施設の計画（美術館）				
29 ～ 30 時間目		社会教育施設の計画（コミュニティセンター・公民館）				
31 ～ 32 時間目		居住施設・学校教育施設・社会教育施設の総まとめ				
33 ～ 34 時間目		医療施設・福祉施設の計画（高齢化社会と建築計画）				
35 ～ 36 時間目		医療施設・福祉施設の計画（病院）				
37 ～ 38 時間目		医療施設・福祉施設の計画（高齢者施設）				
39 ～ 40 時間目		商業施設の計画（規模計画と経済効果）				
41 ～ 44 時間目		商業施設の計画（事務所ビル）				
45 ～ 50 時間目		商業施設の計画（劇場・音楽ホール）				
51 ～ 56 時間目		商業施設の計画（百貨店・スーパーマーケット・駐車場）				
57 ～ 62 時間目		商業施設の計画（宿泊施設・ホテル）				
63 ～ 64 時間目		外部空間の計画総まとめ				
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他		教科書	初学者の建築講座 建築計画		出版社：	市ヶ谷出版社
		教材	配布資料		著 者：	佐藤考一・五十嵐太郎
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030201

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	計画実践					
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	40.5	⑥ 授業形態	演習	
⑦ 担当教員(代表)	渡邊 文雄	⑧ 実務経験	設計実務経験者			
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑩ 授業の目的・目標						
建築計画と建築製図の知識を活かし、より実践的な条件下で、住宅から各種建築物の具体的な間取りや外観等を多角的に検討して行く。実際のエスキース作業を通し、建物の計画立案における各段階に必要な知識と技術を習得させる。						
⑪ 授業の概要						
実戦的問題演習により、総合的に建築計画をまとめて行く。 1. エスキース段階における建物内外の立体的思考をする。 2. デザインのみにとらわれず、構造面にも十分配慮された計画の立案をする。 3. 木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造の各構造の特徴をふまえた計画を立案する。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 3 時間目	住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画					
4 ～ 6 時間目	木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画					
7 ～ 9 時間目	木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法					
10 ～ 12 時間目	木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法					
13 ～ 15 時間目	木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習					
16 ～ 18 時間目	木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習					
19 ～ 21 時間目	木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習					
22 ～ 24 時間目	木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習					
25 ～ 27 時間目	鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画					
28 ～ 30 時間目	鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習					
31 ～ 34 時間目	鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習					
35 ～ 37 時間目	鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習					
38 ～ 40.5 時間目	鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習					
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他		教科書	出版社：			
			著 者：			
		教材	配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030202

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築史					
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	22	⑥ 授業形態	講義	
⑦ 担当教員(代表)	岩田 敏也	⑧ 実務経験	施工実務経験者			
⑨ 評価基準	定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑩ 授業の目的・目標						
単なる技術の歴史だけではなく、気候風土から政治・社会・宗教にいたるまで建築独自の性格について、日本建築・西洋建築について学び、建築物の特徴やデザイン、建築美について学ぶ。これにより建築技術者としての必要な常識を養い、その基盤に立ってこれからの建築のあり方についての進路を切り開く。						
⑪ 授業の概要						
各時代の代表的な建築物をいくつか具体的に取り上げ、クローズアップしていく。その時代の建築物の特徴・材料・技術（工法）史を捉えることにより、次の時代への考察も併行して行う。建築の変遷の流れと特徴を正しく理解することにより、現代建築学が向かうべき姿勢を学習する。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～	2 時間目	日本古代の建築（縄文～古墳時代の住居、集落、奈良・平安時代の仏寺建築、神社建築、寝殿造）				
3 ～	4 時間目	日本中世の建築（和様、大仏様、禅宗様の特徴、新しい建築様式）				
5 ～	6 時間目	日本近世の建築（城郭建築、書院造、数寄屋風建築、寺院建築）				
7 ～	8 時間目	西洋古代の建築（オリエント、エジプト、ギリシア、ローマ建築の特徴と技術史）				
9 ～	10 時間目	西洋中世の建築（初期キリスト教、ビザンチン、ロマネスク、ゴシック建築の特徴と技術史）				
11 ～	12 時間目	西洋近世の建築（ルネサンス、バロック、新古典主義建築の特徴と技術史）				
13 ～	16 時間目	近代建築史（西洋と東洋）				
17 ～	20 時間目	近代建築史「戦後」（ポストモダン、耐震建築構造の発展、都市、建築家のあり方とそのニーズ）				
21 ～	22 時間目	総まとめ（最新の建築状況について、及び考察）				
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
⑬ その他		教科書	コンパクト版 建築史（日本・西洋）	出版社：	彰国社	
		教材		著 者：	「建築史」編集委員会	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030203

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		環境工学			
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 授業形態 講義
⑦ 担当教員(代表)		蜂須賀 亮子	⑧ 実務経験	設計実務経験者	
⑨ 評価基準		定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑩ 授業の目的・目標					
健康で快適な室内環境を実現するための知識として、建築に求められる環境条件を物理量や感覚評価量を体系的にとらえて学び、それらを建築の設計・計画に応用し、利用できる能力の習得を目標とする。また、地球温暖化対策や資源の有効活用、廃棄物の再利用など環境に配慮した建築のあり方にも指針となるものとする。					
⑪ 授業の概要					
住環境の科学的基礎の学習。室内気候全般、空気環境、熱環境・光環境・音環境について人間との関わりを軸に学ぶ。また、人間の温熱感覚を表す指標やその測定方法、自然環境と建築物の基本的関係についても注目していく。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 2 時間目		太陽位置と日照			
3 ～ 4 時間目		日影・日射			
5 ～ 6 時間目		測光量と採光			
7 ～ 8 時間目		人工照明			
9 ～ 10 時間目		色彩の表し方と色彩計画			
11 ～ 12 時間目		空気汚染と必要換気量			
13 ～ 14 時間目		自然換気と機械換気			
15 ～ 16 時間目		伝熱の基本			
17 ～ 18 時間目		建物全体の熱特性			
19 ～ 22 時間目		湿り空気と空気線図			
23 ～ 24 時間目		結露			
25 ～ 26 時間目		温熱感覚指標			
27 ～ 28 時間目		気象と都市環境			
29 ～ 30 時間目		音の性質・音響計画			
31 ～ 32 時間目		環境工学総まとめ			
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他		教科書	初学者の建築講座 建築環境工学	出版社：	市ヶ谷出版社
		教材		著 者：	倉渕 隆
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード 030301

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築設備			
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	54	⑥ 授業形態 講義
⑦ 担当教員(代表)		不破 宏典	⑧ 実務経験	設計実務経験者	
⑨ 評価基準		定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑩ 授業の目的・目標					
建築設備の概要を理解させる。建築と設備の関連性について習得させ、建築技術者として、建築設備の知識を育成する。建築設備の用語・方式を理解させる。建築設備全般的な考え方を理解させる。建築技術者として、建築設備の知識を習得する。					
⑪ 授業の概要					
人間生活をより快適でより安全とするための具体的な各種設備（給水・排水・ガス設備・電気設備・空調設備・電気設備等）について、用語から各種方式までを理解し、建築設備への全体的な考え方と適切な方式の選択方法などを学習する。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 2 時間目		建築設備の分類・概論			
3 ～ 4 時間目		給排水衛生設備の概要（役割・構成等）			
5 ～ 10 時間目		給水設備（方式の種類と特徴・必要圧力・タンク設置規定・管材と施工方法等）			
11 ～ 14 時間目		給湯設備（方式の種類と特徴・給湯温度・管材と施工方法等）			
15 ～ 20 時間目		排水設備・通気設備（方式の種類と特徴・排水トラップ・管材と施工方法等）			
21 ～ 24 時間目		屋外排水設備（排水枘の種類・方式・施工法等）			
25 ～ 28 時間目		排水処理設備（排水処理方法・浄化槽の性能）			
29 ～ 30 時間目		空気調和設備の概要（役割・構成等）			
31 ～ 36 時間目		空気調和設備（室内環境基準・種類・特徴・空調負荷・空調機器等）			
37 ～ 40 時間目		換気設備（方式の種類と特徴・必要換気量の算出等）			
41 ～ 42 時間目		電気設備の概要（役割・構成等）			
43 ～ 44 時間目		受変電・幹線・動力設備			
45 ～ 46 時間目		照明・コンセント設備			
47 ～ 48 時間目		消火設備（方式の種類と特徴等）			
49 ～ 50 時間目		防災設備（自動火災報知設備）			
51 ～ 52 時間目		ガス設備（方式・種類・機器性能等）			
53 ～ 54 時間目		建築設備総まとめ			
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他		教科書	初学者の建築講座 建築設備		出版社： 市ヶ谷出版社
		教材			著 者： 大塚雅之
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード 030401

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		構造力学Ⅰ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)		森 登	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 評価基準		定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標						
構造物に外力が作用した場合、構造物を安全かつ経済的に設計するための、構造計算の基礎となる一般原理を習得する。建築技術者として建築物の安全性に関わる非常に重要な建築構造の一分野であることを認識し、構造計画・計算のための基礎知識を習得する。						
⑪ 授業の概要						
力学の入門(力の合成・分解・力のモーメント・反力等)から力のつり合いについて学び、静定ラーメン・静定トラスの応力算定について理解する。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 6 時間目		力の基本、モーメント				
7 ～ 10 時間目		力の合成と分解（図式解法）				
11 ～ 14 時間目		力の合成と分解（算式解法）				
15 ～ 18 時間目		力のつり合い（図式解法）（算式解法）				
19 ～ 20 時間目		静定構造物と荷重				
21 ～ 24 時間目		単純梁の反力、片持梁の反力				
25 ～ 28 時間目		単純梁系ラーメンの反力、片持梁系ラーメンの反力				
29 ～ 32 時間目		3 ヒンジラーメンの反力				
33 ～ 40 時間目		静定梁 単純梁・片持ち梁の応力				
41 ～ 44 時間目		静定ラーメン 単純梁系・片持ち梁系の応力				
45 ～ 48 時間目		静定ラーメン 3 ヒンジラーメンの応力				
49 ～ 56 時間目		静定トラス 節点法（算式解法）				
57 ～ 62 時間目		静定トラス 切断法（算式解法）				
63 ～ 64 時間目		演習問題の解法				
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他		教科書	基礎から学ぶ 建築構造設計 及び 配布資料	出版社： 実教出版		
		教材		著 者： 実教出版編修部		
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030501	

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		構造力学Ⅱ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)		森 登	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 評価基準		定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標						
構造物に外力が作用した場合、構造物を安全かつ経済的に設計するための、構造計算の基礎となる一般原理を習得する。建築技術者として建築物の安全性に関わる非常に重要な建築構造の一分野であることを認識し、構造計画・計算のための基礎知識を習得する。						
⑪ 授業の概要						
構造材料の力学的性質(応力度・ひずみ度・弾性体の性質)を理解し、断面の性質から部材の設計に関する解法を演習問題を複数解きながら学ぶ。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～		2 時間目	応力度、ひずみ度、ヤング係数			
3 ～		4 時間目	断面一次モーメントと図心			
5 ～		8 時間目	断面二次モーメント			
9 ～		12 時間目	断面係数と断面二次半径			
13 ～		14 時間目	曲げ応力度			
15 ～		20 時間目	許容応力度・許容曲げモーメント、曲げ応力度と軸組応力度の組み合わせ			
21 ～		22 時間目	座屈・たわみ			
23 ～		24 時間目	不静定構造（不静定構造とは・不静定構造の解法）			
25 ～		26 時間目	塑性解析（静定構造の崩壊と全塑性モーメント）			
27 ～		28 時間目	塑性解析（不静定構造の崩壊と崩壊荷重）			
29 ～		30 時間目	塑性解析（不静定ラーメンの崩壊と保有水平耐力）			
31 ～		32 時間目	演習問題の解法			
～		時間目				
～		時間目				
～		時間目				
～		時間目				
～		時間目				
～		時間目				
～		時間目				
～		時間目				
～		時間目				
～		時間目				
～		時間目				
～		時間目				
⑬ その他		教科書	基礎から学ぶ 建築構造設計 及び 配布資料		出版社： 実教出版 著 者： 実教出版編修部	
		教材				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030502

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築一般構造				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)		細野 耕司	⑧ 実務経験			
⑨ 評価基準		定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標						
建築物の概要と構造の種類、構造方式の考え方について理解する。建築設計者・施工者としての必要な構造に関する技術・知識を養う。						
⑪ 授業の概要						
各種躯体（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造・組積造・プレストレスコンクリート造等）の基本的な構法や、各部構法（基礎・屋根・壁・開口部・床・階段・天井・造作と納まり等）を学ぶ。そして、1つの建築物が建っていくまでの流れを理解したり、現存する建築物の構法についても理解を深める。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 2 時間目		建物にはたらく力（荷重、外力）				
3 ～ 4 時間目		木構造（木材、木構造の特徴）				
5 ～ 8 時間目		木構造（在来工法の基礎、床下換気口）				
9 ～ 16 時間目		木構造（軸組、小屋組、床組）				
17 ～ 24 時間目		木構造（筋交い、壁、壁量計算）				
25 ～ 28 時間目		木構造（階段、継手・仕口、金物）				
29 ～ 30 時間目		木構造（枠組み壁工法）				
31 ～ 32 時間目		鉄筋コンクリート造（コンクリートと鉄筋）				
33 ～ 34 時間目		鉄筋コンクリート造（特徴、原理、構造形式）				
35 ～ 36 時間目		鉄筋コンクリート造（配筋計画）				
37 ～ 42 時間目		鉄筋コンクリート造（各部の構造）				
43 ～ 44 時間目		鉄筋コンクリート造（階段）				
45 ～ 46 時間目		鉄筋コンクリート造（壁式鉄筋コンクリート構造）				
47 ～ 47 時間目		鉄骨造（鋼材の特徴）				
48 ～ 48 時間目		鉄骨造（構造形式）				
49 ～ 52 時間目		鉄骨造（接合）				
53 ～ 54 時間目		鉄骨造（部材の設計）				
55 ～ 58 時間目		鉄骨造（各部の構造）				
59 ～ 60 時間目		鉄骨造（床板、階段、耐火被覆）				
61 ～ 61 時間目		鉄骨鉄筋コンクリート造				
62 ～ 62 時間目		補強コンクリートブロック造・プレストレストコンクリート造				
63 ～ 64 時間目		建築一般構造総まとめ				
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他		教科書	図説 やさしい建築一般構造		出版社：	学芸出版社
		教材			著 者：	今村仁美・田中美都
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030601

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築材料				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)	高橋 伸明	⑧ 実務経験			
⑨ 評価基準	定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
木造・ＲＣ造・Ｓ造等の建築設計・施工時に使用される主要材料の製造・性質・種類などの基礎的な知識を習得する。建築実務に携わった際にプロとして対応できる基本的な知識を備えていること。建築材料の知識が、建築設計や施工時にどのように繋がっていくか習得する。					
⑪ 授業の概要					
建築物の具体的使用例等を例示しながら、セメント・コンクリート・金属・木材等の建築物としての主要建築材料や、その他塗料・ガラス・タイル・石材・左官材等の仕上げ材料の基本から応用的な知識までを学ぶ。また、新建材についても取り上げその特徴を分析する。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～	2 時間目	概要			
3 ～	6 時間目	構造材料（木材）			
7 ～	10 時間目	構造材料（鋼材）			
11 ～	16 時間目	構造材料（コンクリート）			
17 ～	18 時間目	仕上げ材料（タイル・煉瓦）			
19 ～	20 時間目	仕上げ材料（石材・ガラス）			
21 ～	22 時間目	仕上げ材料（左官・吹付材）			
23 ～	24 時間目	仕上げ材料（プラスチック）			
25 ～	26 時間目	仕上げ材料（塗料）			
27 ～	28 時間目	仕上げ材料（防水材料）			
29 ～	30 時間目	その他の仕上げ材料			
31 ～	32 時間目	建築材料総まとめ			
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
⑬ その他		教科書	初学者の建築講座 建築材料	出版社：	市ヶ谷出版社
				著 者：	橘高義典 他
		教材			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030701

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築施工					
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1		
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	64	⑥ 授業形態	講義	
⑦ 担当教員(代表)	藤原 史章	⑧ 実務経験	施工実務経験者			
⑨ 評価基準	定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑩ 授業の目的・目標						
建築生産をはじめとし、躯体工事、仕上げ工事等の各種工事から1つの現場の流れについて理解し、建築施工者としての必要な施工に関する技術・知識を養う。						
⑪ 授業の概要						
鉄筋コンクリート・鉄骨・木・土工事等の躯体工事の基本的な施工方法や左官・防水・内装等の仕上げ工事の施工方法の知識を学ぶ。そのほか工事の請負契約や請負制度の概略を学ぶ。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 2 時間目	建築生産（設計と施工）					
3 ～ 6 時間目	施工計画（品質管理・材料管理・工程管理・安全管理・工程表の理解）					
7 ～ 10 時間目	仮設工事・準備工事（共通仮設工事・直接仮設工事・施工機械）					
11 ～ 16 時間目	土工事・地業・基礎工事					
17 ～ 24 時間目	躯体工事（鉄筋コンクリート工事）					
25 ～ 30 時間目	躯体工事（鉄骨造）					
31 ～ 38 時間目	躯体工事（木工事）					
39 ～ 42 時間目	仕上工事（屋根工事）					
43 ～ 46 時間目	仕上工事（防水工事）					
47 ～ 50 時間目	仕上工事（左官工事）					
51 ～ 52 時間目	仕上工事（タイル工事・石工事）					
53 ～ 54 時間目	仕上工事（建具工事・ガラス工事）					
55 ～ 56 時間目	仕上工事（内装工事）					
57 ～ 58 時間目	仕上工事（塗装工事）					
59 ～ 60 時間目	仕上工事（断熱工事）					
61 ～ 62 時間目	建物の引渡し					
63 ～ 64 時間目	建築施工総まとめ					
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他	教科書	2級建築施工管理技士一次対策テキスト		出版社：	建築資料研究者	
	教材			著 者：	日建学院	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030801

授 業 計 画 (シラバス)

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	施工図				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	22	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)	岩田 敏也	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 評価基準	定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
設計図と施工図の違い、施工図がどのように使われて行くか、その大切さを理解させる。その中で特に現場管理者が中心となって書かなければならないコンクリート躯体図・タイル割り付け図の作成方法、手順を習得し、簡単なコンクリート躯体図・タイル割り付け図が作成出来るような能力を養成する。					
⑪ 授業の概要					
躯体工事施工図(鉄筋コンクリート造・鉄骨造等)および仕上げ工事施工図(タイル割り付け図・木工図・サッシュ図等)の見方・描き方、チェック方法を学ばせ、更に簡単な実務設計図面を使用して、コンクリート躯体図、タイル割り付け図を作成する。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～	2 時間目	コンクリート躯体図の作図方法、手順			
3 ～	4 時間目	コンクリート躯体図 (基礎)			
5 ～	7 時間目	コンクリート躯体図 (一般階)			
8 ～	9 時間目	コンクリート躯体図 (最上階)			
10 ～	11 時間目	コンクリート躯体図 (階段)			
12 ～	12 時間目	タイル割付図 (内装)			
13 ～	14 時間目	タイル割付図 (外装)			
15 ～	16 時間目	タイル割付図 (建具周り)			
17 ～	18 時間目	鉄骨図			
19 ～	22 時間目	木工図			
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
⑬ その他		教科書	出版社：		
			著 者：		
		教材	配布資料		
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード 030802

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築積算					
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 授業形態	講義	
⑦ 担当教員(代表)	二宮 伸吾	⑧ 実務経験	設計実務経験者			
⑨ 評価基準	定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑩ 授業の目的・目標						
建築数量積算基準を理解し、工事別の数量拾い出し方法を習得するとともに、実務に際しての基礎的知識の獲得を目的とする。鉄筋コンクリート造を中心とした数量積算の演習を行い、拾い出し方法を習熟することにより、積算内訳表の作成ができることを目標とする。						
⑪ 授業の概要						
建築数量積算基準に基づいた工事別積算数量を算出するために必要な解説を行い、積算方法の習得を目指す。さらに、演習として、実務設計図書を使用しての躯体工事(主に土・型枠・鉄筋・コンクリート工事等)および、仕上げ工事(左官・吹きつけ・木工事等)の拾い出しを行い理解を深め、積算内訳書の作成を行う。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 4 時間目	建築数量積算基準の概要および積算価格の構成についての解説					
5 ～ 8 時間目	土工事積算 解説・演習					
9 ～ 12 時間目	RC造 鉄筋数量（壁） 解説・演習					
13 ～ 18 時間目	RC造 鉄筋数量（柱・梁） 解説・演習					
19 ～ 20 時間目	RC造 鉄筋数量（スラブ） 解説・演習					
21 ～ 26 時間目	RC造 コンクリート・型枠数量 解説・演習					
27 ～ 28 時間目	RC造 仕上数量（外部） 解説・演習					
29 ～ 30 時間目	RC造 仕上数量（内部） 解説・演習					
31 ～ 32 時間目	内訳書作成（まとめ）解説・演習					
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他	教科書	積算協会のPCMシリーズ 建築積算		出版社：	日本建築積算協会	
	教材	電卓		著 者：	日本建築積算協会	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	030803

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築法規Ⅰ				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	64	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)	松井 一将	⑧ 実務経験			
⑨ 評価基準	定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
わが国における建築活動は、すべて法律を規範として営まれており、建築基準法は、構造・防火・避難・衛生等に関する技術的基準及び集団としての秩序を維持するための用途・密度・形態等に関する基準を規定するとともに、これらの内容を担保するための制度・手続き等についても規定している。この授業は建築基準法を中心に学ぶことにより建築関連業務に従事する者に必要な法律知識の習得と社会の変化に対応できる人材の養成を目標とする。					
⑪ 授業の概要					
建築基準法を理解する上で重要な用語の定義について図解等を交えてわかりやすく解説する。また、建築基準法及び建築基準法施行令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、都市計画区域等における主要な建築制限、制度規定について、法の基因関係から逐条の解説を実例と併せて解説すると共に法文内容の理解を深めるために演習を行う。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 4 時間目		建築法規の概要・建築基準法の概要、用語の定義			
5 ～ 8 時間目		建築に関する用語の定義			
9 ～ 14 時間目		面積、高さ等の算定			
15 ～ 18 時間目		建築基準法に関わる手続き			
19 ～ 24 時間目		居室の採光			
25 ～ 30 時間目		居室の換気、アスベスト規制、シックハウス			
31 ～ 36 時間目		居室の天井高・床高・階段の寸法等			
37 ～ 42 時間目		道路関係			
43 ～ 48 時間目		用途地域			
49 ～ 56 時間目		容積率・建ぺい率			
57 ～ 62 時間目		高さ制限・日影規制			
63 ～ 64 時間目		建築法規Ⅰ 総まとめ			
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他		教科書	建築基準法関係法令集	出版社：	日建学院
				著 者：	建築資料研究所
		教材			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030901

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築法規Ⅱ				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	54	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)	二宮 伸吾	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 評価基準	定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
わが国における建築活動は、すべて法律を規範として営まれており、建築基準法は、構造・防火・避難・衛生等に関する技術的基準及び集団としての秩序を維持するための用途・密度・形態等に関する基準を規定するとともに、これらの内容を担保するための制度・手続き等についても規定している。この授業は建築基準法を中心に学ぶことにより建築関連業務に従事する者に必要な法律知識の習得と社会の変化に対応できる人材の養成を目標とする。					
⑪ 授業の概要					
建築基準法を理解する上で重要な用語の定義について図解等を交えてわかりやすく解説する。また、建築基準法及び建築基準法施行令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、都市計画区域等における主要な建築制限、制度規定について、法の基因関係から逐条の解説を実際例と併せて解説すると共に法文内容の理解を深めるために演習を行う。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～	4 時間目	防火・準防火地域の制限			
5 ～	10 時間目	防火壁等・耐火・準耐火建築物			
11 ～	14 時間目	内装制限			
15 ～	20 時間目	防火区画			
21 ～	28 時間目	避難施設			
29 ～	38 時間目	構造強度			
39 ～	52 時間目	建築基準法以外の建築関係規定			
53 ～	54 時間目	建築法規Ⅱ 総まとめ			
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
⑬ その他	教科書	建築基準法関係法令集		出版社：	日建学院
				著 者：	建築資料研究所
	教材				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030902

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	施工管理					
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2		
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 授業形態	講義	
⑦ 担当教員(代表)	長屋 充幸	⑧ 実務経験				
⑨ 評価基準	定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑩ 授業の目的・目標						
施工管理上必要な建築学の知識と、建築実務上重要な施工計画・工程管理・品質管理・安全管理の諸事項を習得させる。実務に就いた際に現場施工監督者（管理者）としての必要な知識を備える。						
⑪ 授業の概要						
現場施工の工事完了までの諸事項を、安全管理・工程管理・品質管理面について検討し、実務設計図面を使用してスムーズに工事が進行するように具体的な施工計画書を作成する。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 2 時間目	施工計画					
3 ～ 4 時間目	工程管理					
5 ～ 8 時間目	品質管理・安全管理					
10 ～ 11 時間目	建設業法					
12 ～ 15 時間目	労働基準法・労働安全衛生法					
16 ～ 19 時間目	防水工事・屋根工事					
20 ～ 21 時間目	左官工事・張り石工事・タイル工事					
21 ～ 22 時間目	金属工事					
23 ～ 24 時間目	木工事					
25 ～ 26 時間目	ガラス工事・建具工事					
27 ～ 28 時間目	塗装工事・吹付け工事					
29 ～ 30 時間目	内装工事・その他工事					
31 ～ 32 時間目	総合演習					
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他	教科書	2級建築施工管理技士一次対策テキスト		出版社：	建築資料研究者	
	教材	配布資料		著 者：	日建学院	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031003

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築ⅠＴⅠ				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	1
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 授業形態	実習
⑦ 担当教員(代表)	臼井 あゆみ	⑧ 実務経験			
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
ワープロ等のパソコンのリテラシーの習得を目指す。さらにプレゼンテーション、画像処理等のソフトを利用し、建築技術者として業務に必要なパソコン操作や書類作成を行うことができる基礎能力を養う。					
⑪ 授業の概要					
PCの基本操作を学び、実践的演習を行う。また、ワープロ・プレゼンテーションソフトの活用により各種業務の技術を体得する。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～	1 時間目	OSの基本操作、ネットワークドライブの利用			
2 ～	2 時間目	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存			
3 ～	4 時間目	Word活用 社外文書の作成			
5 ～	7 時間目	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用			
8 ～	8 時間目	プレゼンテーションの学習			
9 ～	11 時間目	PowerPoint基礎（スライド作成、編集、効果の設定）			
12 ～	14 時間目	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画			
15 ～	20 時間目	プレゼンテーションスライドの作成			
21 ～	25 時間目	プレゼンテーションのポイント、グループリハーサル、調整			
26 ～	30 時間目	プレゼンテーションの実践、評価			
31 ～	31 時間目	プレゼンテーションの反省			
32 ～	32 時間目	PowerPoint拡張機能			
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
～	時間目				
⑬ その他	教科書	30時間でマスター Excel2021		出版社：	実教出版
				著 者：	実教出版編修部
	教 材	配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	031004

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築ⅠⅡ					
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	27	⑥ 授業形態	実習	
⑦ 担当教員(代表)	臼井 あゆみ	⑧ 実務経験				
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑩ 授業の目的・目標						
「建築ⅠⅡ」で習得した知識・技術に加え、表計算等の知識や、画像処理等のソフトを利用し、建築技術者として業務に必要なパソコン操作や書類作成をより高度に行うことができる能力を養う。						
⑪ 授業の概要						
電子データの基本的考え方を学び、標準化・共有化の実践的演習を行う。また、ワープロ・表計算ソフトの活用により見積書、確認申請等の各種建築関係書類の作成技術を体得する。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 2 時間目	Excel表作成の基礎 書式設定・書式コピー					
3 ～ 4 時間目	Excel数式の設定					
5 ～ 8 時間目	Excel表作成の基礎 SUM関数、AVERAGE関数、					
9 ～ 12 時間目	Excel関数 SUM、AVERAGE					
13 ～ 15 時間目	Excel関数 RANK.EQ					
16 ～ 17 時間目	Excel各種グラフ作成・編集					
18 ～ 19 時間目	Excel関数 IF					
20 ～ 21 時間目	Excel関数 AND、OR					
22 ～ 23 時間目	Excel関数 VLOOKUP、HLOOKUP					
24 ～ 25 時間目	Excel データベース操作					
26 ～ 27 時間目	Excel テーブル機能の活用					
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他	教科書	30時間でマスター Excel2021		出版社：	実教出版	
	教材			著 者：	実教出版編修部	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031005

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	大工実習Ⅰ				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	1
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	192	⑥ 授業形態	実習
⑦ 担当教員(代表)	平山 繁男	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
実践的な技術を備えた建築技術者を輩出し、育成することが目標となる。ここでは、大工の技法を通し、木造の建築構造・構法を理解する。木造全般を理解することは勿論のこと、特に在来軸組工法に着目し、伝統的な大工技術である規矩術、軸組の仕組、納まりの基本的技術、知識の習得・理解が目的となる。					
⑪ 授業の概要					
大工技術の基本となる、さしがねを利用した継手・仕口加工、木工工作を通じ、規矩術の基本を体得する。その応用として小屋組の縮小模型を制作し、平垂木・桁・棟桁・梁・束の仕組みと納まり等、木造の基本について理解する。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 6 時間目	大工道具の調整及び木材・規矩術に関する基本的概要				
7 ～ 30 時間目	ほぞ穴、継手、仕口加工の練習（腰掛あり継ぎ、腰掛けかま継ぎ）				
31 ～ 36 時間目	砥石台の制作				
37 ～ 60 時間目	ほぞ穴、継手、仕口加工の練習（台持ち継ぎ、追掛（大栓）継ぎ）				
61 ～ 78 時間目	のみ研ぎ練習、朝顔箱の制作（木取り、墨付け、加工、調整、仕上げ）				
79 ～ 126 時間目	小屋組の縮小模型制作「平垂木・桁・棟桁・梁・束の仕組み」				
127 ～ 180 時間目	2方転び踏み台制作（木取り、墨付け、加工、調整、仕上げ）				
181 ～ 192 時間目	棒隅の制作（木取り、墨付け、加工、調整、仕上げ）				
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他	教科書	実用図解 大工さしがね術		出版社：	オーム社
	教材			著 者：	中原靖夫
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	031006

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	大工実習Ⅱ				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科			③ 履修学年	2
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	222	⑥ 授業形態	実習
⑦ 担当教員(代表)	平山 繁男	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
実践的な技術を備えた建築技術者を輩出し、育成することが目標となる。ここでは、大工の技法を通し、木造の建築構造・構法を理解する。木造全般を理解することは勿論のこと、特に在来軸組工法に着目し、伝統的な大工技術である規矩術、軸組の仕組、納まりの応用（高度）技術、知識の習得・理解が目的となる。					
⑪ 授業の概要					
基本（大工技術）の習得後、原寸の木造軸組模型の制作（木造2階建等）を行う。ここでは、伏図の理解及び作成から、部材の見積り、選別、木取りを行う。次段階として規矩術の実践的技法を用いて、墨付けから建方（住宅が出来るまでの一連の作業）までを体得する。総仕上げとして、柱建四方転び踏み台を制作する。高度な柱や貫の納まり・加工方法の理解を通じて、木構造全般について理解する。その技法の根本である歴史についても学ぶ。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 12 時間目	木造軸組模型の制作（規矩術及び基本概要、床・小屋伏図の考え方）				
13 ～ 31 時間目	木造軸組模型の制作（プランニング・設計及び各種伏図の作成）				
32 ～ 50 時間目	木造軸組模型の制作（各種伏図をもとにして部材選別及び木取り）				
51 ～ 75 時間目	木造軸組模型の制作（検竿（尺）を制作し、墨付け、加工）				
76 ～ 88 時間目	木造軸組模型の制作（調整及び仮組）				
89 ～ 101 時間目	木造軸組模型の制作（建方、仕上げ）				
102 ～ 222 時間目	柱建四方転び踏み台の製作（規矩術の総まとめ）（図面作成・墨付け・加工・組立・調整・仕上）				
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他	教科書	実用図解 大工さしがね術		出版社：	オーム社
				著 者：	中原靖夫
	教材				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	031007

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		リフォーム計画				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	54	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)		石黒 達哉	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 評価基準		定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標						
建築物のリフォームに関し、その計画立案のプロセスを習得する。その際に必要となる知識として、建築計画・建築構造・建築施工・建築設備・建築関係法規などの建築学の他に、科学・民法・色彩・心理学等、の様々な分野の基礎知識も習得する。						
⑪ 授業の概要						
住宅を題材に建て主の要望を想定し、その要望を高次元で具体化するプロセスを学習する。敷地条件や既存建物、家族構成などを様々に想定し、その条件の中で、動線に工夫のある間取りやライフスタイルに合わせた間取りを計画する。具体的な事例を通してその企画から設計・見積もり・施工までを総合的に学ぶ。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 4 時間目		リフォームの現状とその目的について				
5 ～ 12 時間目		水回りについて（キッチン、バス・洗面・トイレ、給湯・ソーラー）				
13 ～ 20 時間目		内装について（床材、インテリア、建具、防犯・防災）				
21 ～ 26 時間目		外装について（窓まわり、開口部、外壁、屋根材、エクステリア、塗料）				
27 ～ 30 時間目		構造について（断熱材、床下・資材、耐震）				
31 ～ 32 時間目		演習問題				
33 ～ 38 時間目		敷地・家族構成・予算等の条件設定				
39 ～ 42 時間目		リフォーム計画個別調査書作成				
43 ～ 46 時間目		検討図の作成について				
47 ～ 48 時間目		検討図の確認、確定について				
49 ～ 52 時間目		計画図の作成について				
53 ～ 54 時間目		リフォーム計画総まとめ				
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他		教科書	110のキーワードで学ぶ 世界で一番やさしい リフォーム		出版社： 株式会社エクスナレッジ	
		教材			著 者： 田園都市建築家の会	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031008

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築士演習				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	22	⑥ 授業形態	演習
⑦ 担当教員(代表)		長屋 充幸	⑧ 実務経験			
⑨ 評価基準		提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標						
2級建築士試験合格レベルの実力養成と、1級建築士試験に関しても基本問題の演習を通して理解を深め、卒業後の建築士合格を目指す。						
⑪ 授業の概要						
2年間の建築（計画、構造、法規、施工）・設備（エネルギー、給排水、空調、換気）の学習を踏まえ、これらの総合復習・演習を模擬試験と解説という形式で反復練習を行う。また、卒業後の1級建築士の合格を目標とする。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 2 時間目		「計画系」科目の模試及び解説1				
3 ～ 4 時間目		「法規系」科目の模試及び解説1				
5 ～ 6 時間目		「構造系」科目の模試及び解説1				
7 ～ 8 時間目		「施工系」科目の模試及び解説1				
9 ～ 10 時間目		「計画系」科目の模試及び解説2				
11 ～ 12 時間目		「法規系」科目の模試及び解説2				
13 ～ 14 時間目		「構造系」科目の模試及び解説2				
15 ～ 16 時間目		「施工系」科目の模試及び解説2				
17 ～ 22 時間目		2級建築士学科全教科模試と解説				
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他		教科書			出版社：	
					著 者：	
		教 材	配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031009

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築測量実験				
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	40.5	⑥ 授業形態	実習
⑦ 担当教員(代表)	長屋 充幸	⑧ 実務経験			
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
一つの建築物を設計し、竣工するまでに必要な様々な建築測量技術を習得する。設計士あるいは現場の施工管理者として、測量技術がどのように使われるかを知り、正確な計測、計算が出来るような力を養成し、実社会において即戦力として活躍出来る人材に育てる。一つの建築物が完成するまでに使用される主な構造材料（セメント・骨材・コンクリート・鉄筋等）の基本的な性能を理解し、実社会に於ける建築設計監理・現場施工管理等に役立つことが出来るようにする。					
⑪ 授業の概要					
設計前の敷地調査や建築工事現場で使用する主要な測量関係機器の基本的な使用方法を習得する。実際の敷地・建物を想定して、測量機器を用いて実務に即した実習をする。直接、実験材料に触れることによってその性能や特性を学ぶ。セメント・骨材・コンクリート・鉄筋等の物理的性質を学び、それぞれの材料試験を行うことによってその性質・寸法・形状等が要件にかなったものであることを確かめる。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 3 時間目		距離測量の基礎			
4 ～ 6 時間目		距離測量の応用（建物内外部の計測・集計）			
7 ～ 9 時間目		高低測量の基礎			
10 ～ 12 時間目		高低測量の応用（定規の取り扱い等）			
13 ～ 15 時間目		平板測量の基礎			
16 ～ 21 時間目		平板測量と距離測量の応用（土地面積計測・計算）			
22 ～ 26 時間目		角測量の基礎			
27 ～ 31.5 時間目		角測量の応用（基礎・一般階の墨出し）			
32.5 ～ 34.5 時間目		コンクリート調合設計			
35.5 ～ 37.5 時間目		コンクリートスランプ試験・空気量試験			
38.5 ～ 40.5 時間目		コンクリート圧縮試験・鉄筋引張試験			
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		大工総合演習				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	30	⑥ 授業形態	演習
⑦ 担当教員(代表)		長屋 充幸	⑧ 実務経験			
⑨ 評価基準		提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標						
大工技能士学科試験合格レベルの実力を養成するとともに、大工実習で身につけた内容についての理解を深める。						
⑪ 授業の概要						
講義にて技能士試験に関する範囲を理解させ、模試および解説にて試験対策を行う。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～ 6 時間目		専門用語の確認・復習				
7 ～ 8 時間目		技能士試験に関するガイダンス				
9 ～ 12 時間目		規矩術、道具の名称および使用上の注意				
13 ～ 15 時間目		模擬試験① 解説				
16 ～ 18 時間目		模擬試験② 解説				
19 ～ 21 時間目		模擬試験③ 解説				
22 ～ 24 時間目		模擬試験④ 解説				
25 ～ 27 時間目		模擬試験⑤ 解説				
28 ～ 30 時間目		模擬試験⑥ 解説				
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
～ 時間目						
⑬ その他		教科書	実用図解 大工さしがね術		出版社： オーム社	
					著 者： 中原 靖夫	
		教材	配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031011

授 業 計 画（シラバス）

【2025年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	キャリア演習					
② 対象学科	工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	1		
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 授業形態	演習	
⑦ 担当教員(代表)	辻 喜博	⑧ 実務経験				
⑨ 評価基準	演習授業内試験を100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑩ 授業の目的・目標						
将来のキャリアを形成していくために必要な、社会人としての基礎学力の理解と就職試験対策を目標とする。						
⑪ 授業の概要						
基礎学力の理解：(国語・数学・社会)の基礎問題を復習し理解する。 就職試験の基礎問題（SPI言語・非言語・一般教養）の理解を図る。						
⑫ 授業内容・授業計画						
1 ～	1 時間目	国語 ①漢字・語句 ②同訓異字・同音異義語				
2 ～	2 時間目	国語 ③敬語 ④紛らわしい品詞				
3 ～	4 時間目	社会 ①世界の地域構成				
5 ～	6 時間目	社会 ②日本の地域構成 ③現代社会の特色				
7 ～	8 時間目	数学 ①四則演算、正と負の数 ②式の計算 ③式の展開				
9 ～	10 時間目	数学 ④因数分解 ⑤データの整理・確率				
11 ～	11 時間目	数学 ⑥平面・空間図形 ⑦順列・組み合わせ				
12 ～	12 時間目	SPI問題 一般教養 日本国憲法、国会、内閣				
13 ～	14 時間目	SPI問題 一般教養 裁判所、国際連合				
15 ～	15 時間目	SPI問題 一般教養 一般常識				
16 ～	16 時間目	SPI問題 言語基礎 二語の対応関係				
17 ～	17 時間目	SPI問題 言語基礎 語句の用法				
18 ～	20 時間目	SPI問題 言語基礎 熟語の意味				
21 ～	26 時間目	SPI問題 言語基礎 熟語の成り立ち				
27 ～	31 時間目	SPI問題 言語基礎 難読語 四字熟語 ことわざ				
32 ～	32 時間目	総まとめ				
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
～	時間目					
⑬ その他		教科書	出版社：			
		教材	配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	031101